

なぜ黙っていたのですか

テレビも新聞も自民党総裁選の話ばかりしている。その様子を眺めながら、こんなことを思う。

社長も部長も課長も新入社員も問題だらけの会社で、次はこの人を社長にすべきではないかと議論している。その時、外の人間が投げかけるべき言葉は、「そうっすね、この中なら、この人がいいんじゃないっすかね」ではなく、「いや、この会社で、大丈夫っすかね」ではないか。



武田砂鉄の いかがなものか?

26

中樞で大臣をやっている人までいる。

支持率が低迷し、これではもう運営できないと放り投げた政権に対する批判

が、内部から聞こえてこない。その批判には、自分が含まれてしまうからだろう。皆が皆、私が総裁になったら、とばかり繰り返す。



酒場で、職場の批判を繰り返して、オレが偉くなったら、と理想論を語る人はどの組織にもいる。そういう人は翌朝になると黙って席に座っている。情けない姿だが、組織で生きるための悲しい性ではある。だがどうだろう、今、名乗り出ている人たちは、黙って席に座って会社の悪事を黙認し

てきたくせに、その悪事について追及しようともせず、いよいよ私の番ではないか、と職場で声を張り上げていているのだ。それって、酒場よりもひどい状況である。

立候補した人たちが盛んにテレビに出ている。司会者やコメンテーターは「もし総裁になったらどういことがしたいか」とわざわざ問いかけている。奇妙だ。まず投げかけるべきは、「で、こんなことになるまで黙っていたようですが、今までどうして黙っていたのですか」に違いない。

「え、何のことですか」と返ってきたら、「あ、すみません、具体的に言っただけです。東京オリピックを強行したことに

よって生じた『榮観バイアス』で感染者が激増し、そもそも賄賂疑惑などを放置したまま実施した疑惑もそのままです。検察が押収した資料が返却されたのに、河井克行・案里夫妻に提供された1億5000万円がどのように使われたかが検証されていない件について

です。あとは、森友学園問題の再調査についてです。もちろん、桜を見る会も未解決です。そう、日本学術会議任命拒否問題についてもまだですよ」と続けられ

か、って、どんな立場の人でも言える。今、私は、「来

年の今頃には世界で5本の指に入る大金持ちになっていると思います」と言うことが出来る。でも、そう言ったら、たちまち、今の自分の状態を観察され、「いや、それは無理でしょ」と言われるはず。

なぜ政治家に対してそれをしないのだろうか。「こういうことをしたいと思っいます」と言われたら、「そもそも、あなたはそういうことを言える人なのだろうか」というところから問わなければいけない。

会社の中で黙っていた人が「社長になりたい」と叫んでいる。なぜ黙っていたのか、それを聞いてからだ。(ただだ・さてつ ライター) (毎月1回掲載)